

事業評価書

補助事業名	芦屋飛行場関連公共用施設（教育文化施設：駐車場整備）整備事業						
補助事業者名	芦屋町長						
実施場所	芦屋町白浜町3786番地						
補助事業の成果の目標	旧給食センターは、昭和45年度（築49年）に建設され、増設、修繕を行って運営していたが、老朽化が著しく、また、現在の学校給食衛生管理基準に沿った運営が困難な状況であったため平成27年8月に新しく給食センターを建設し9月から運営を開始した。そこで跡地利用を検討した結果、芦屋小学校と同一の敷地内にあり、また、現在、校舎裏などに駐車しており、児童の安全のため、同小学校からの駐車場としての利用要望があることから旧給食センターを解体し駐車場として整備し同小学校の駐車場として活用する。 このことから、駐車場不足が解消され、児童の安全も図られる。						
補助事業の内容	駐車場整備 一式						
補助事業の始期及び終期	令和元年度						
事業費及び交付金額		元年度					計
	事業費	円 23,900,400	円	円	円	円	円 23,900,400
	交付金額	23,743,000					23,743,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>小学校の勤務者にアンケート調査を実施した結果、「駐車場の整備を行ったことにより、勤務者・来校者の駐車場不足が解消され、学校周辺の違法駐車がなくなり通学児童の交通事故等の防止に繋がっている。」との回答を得た。また、無人状態の老朽化した給食センターを解体したことにより、防犯や安全面においても改善された。</p> <p>工事期間中、工事看板に「特定防衛施設周辺整備環境整備調整交付(防衛省)による工事」である旨記載し、学校だよりに同様に記載し保護者等へ周知した。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	芦屋飛行場関連公共用施設 (教育文化施設: 芦屋中学校外階段) 整備事業					
補助事業者名	芦屋町長					
実施場所	芦屋町中ノ浜10番74号(芦屋中学校)					
補助事業の成果の目標	芦屋中学校の校舎とグラウンドをつなぐ外階段があるが、外階段の中央部分が窪んでいるとともに、亀裂やゆがみ等も見られる。窪んでいる箇所の地下が空洞化している可能性もあり、状況把握と安全確保に向けた施工方法を明確化するため実施設計を行うものである。 また、後年には安全を確保できる工事を施工し、事故を未然に防ぐと共に、生徒が安全かつ安心して学校生活を送れることも目的とするものである。					
補助事業の内容	実施設計 一式					
補助事業の始期及び終期	令和元年度					
事業費及び交付金額		元年度				計
		円	円	円	円	円
	事業費	7,827,600				7,827,600
	交付金額	7,827,000				7,827,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に配慮し関係法令に準拠した工事を実施するための設計図書を作成することができた。 ・地域住民にはHPを活用し、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業を活用している内容を掲載することで周知を図っている。 					
事業の改善措置及び今後の対応	無					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

事業評価書

補助事業名	芦屋飛行場関連公共用施設 (教育文化施設: 芦屋中学校グラウンド) 整備事業					
補助事業者名	芦屋町長					
実施場所	芦屋町中ノ浜10番74号(芦屋中学校)					
補助事業の成果の目標	芦屋中学校グラウンドは経年劣化に伴い、水道(みずみち)ができる等体育の授業や部活動に支障がでる状態となっている。学校生活(授業等)を円滑に行えるよう、教育環境を整えるため実施設計を行う。 また、後年には改修工事を行い、体育の授業や部活動が円滑に行えるよう、教育環境を整えることを目的とする。					
補助事業の内容	実施設計 一式					
補助事業の始期及び終期	令和元年度					
事業費及び交付金額		元年度				計
		円	円	円	円	円
	事業費	7,480,000				7,480,000
	交付金額	7,480,000				7,480,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・実施設計の完了に伴い、工事を実施するための設計図書を作成することができた。 ・地域住民にはHPを活用し、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業を活用している内容を掲載することで周知を図っている。 					
事業の改善措置及び今後の対応	無					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

事業評価書

補助事業名	芦屋飛行場関連公共用施設（教育文化施設：芦屋町図書館システム機器等更新）整備事業						
補助事業者名	芦屋町長						
実施場所	遠賀郡芦屋町中ノ浜4番4号						
補助事業の成果の目標	<p>現行の図書館システムと機器類は平成22年4月1日に稼働開始し約8年が経過しているところ、メーカーによる部品の供給は5年であり、機器の保守委託も6年で終了したところである。</p> <p>そのため、機器等は老朽化し、動作が遅くなっている。さらに令和元年度に入りサーバがダウンし、復旧まで半日ほどかかる不具合が二度生じて、利用者の図書の貸借に待ち時間が生じ、図書の整理等が滞る事例が発生している。本事業においては、このような不具合が起こった場合の遠隔操作による即時対応及び蔵書の適切な管理を行うことを目標として、クラウド型システムを導入するものである。</p>						
補助事業の内容	図書館システム機器等更新 一式						
補助事業の始期及び終期	令和元年度						
事業費及び交付金額		令和元年度					計
	事業費	円 5,826,000	円	円	円	円	円 5,826,000
	交付金額	円 5,826,000					円 5,826,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業の実施により、蔵書の適切な管理及び不具合発生時の遠隔操作が可能となるシステムを導入することができ、また、新規システムを導入後に図書館利用者へアンケートを実施したところ、蔵書の検索機能への満足度が向上し、窓口業務の迅速さと正確さにも高い評価が得られた。さらに、スマートフォンや自宅のパソコンからの検索では、書籍の表紙もみることができるので分かりやすいという利用者の声も聞かれ、事業の効果を確認することができた。</p> <p>地域住民への周知については、町のホームページにより特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を周知した。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	芦屋飛行場関連特定事業 (教育、スポーツ及び文化に関する事業:学力向上事業基金)							
補助事業者名	芦屋町長							
実施場所	芦屋町							
補助事業の成果の目標	町独自の加配講師を配置することで、児童・生徒に応じたきめ細やかな学習指導ができるよう、教育環境を充実させることを目的とする。							
補助事業の内容	加配講師の雇用							
補助事業の始期及び終期	平成27年度～令和7年度							
事業費及び交付金額		27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	計	
		円	円	円	円		円	
	事業費	0	17,755,835	25,182,783	21,132,822	24,060,279	88,131,719	
	基金造成額	交付金額	28,564,000	21,160,000	26,752,000	20,000,000	20,000,000	116,476,000
		市町村費等	0	0	0	0	0	0
		運用益	0	64,270	72,198	81,716	39,101	257,285
		計	28,564,000	21,224,270	26,824,198	20,081,716	20,039,101	116,733,285
	基金処分別	0	17,700,000	20,000,000	20,000,000	20,000,000	77,700,000	
基金残額	28,564,000	32,088,270	38,912,468	38,994,184	39,033,285			
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>4年生における35人学級や、習熟度別分割学習を行う際の講師等を配置した。年度末には配置校長に聞き取りを行い、この取り組みが、きめ細やかな授業に効果的であったことも確認した。これにより、調整交付金を活用することで、児童や生徒に対してより良い教育の場を提供できたものと判断する。</p> <p>また、地域住民にはHPを活用し、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業を活用している内容を掲載することで周知を図っている。</p>							
事業の改善措置及び今後の対応	無							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							

事業評価書

補助事業名	芦屋飛行場関連特定事業（医療に関する事業：芦屋町乳幼児・子ども医療費助成事業基金）							
補助事業者名	芦屋町長							
実施場所	芦屋町内全域							
補助事業の成果の目標	<p>芦屋町は子育て支援策として、疾病の早期発見と治療を促進し、子どもの保険の向上と福祉の増進を図るため、中学校以下の子どもの医療費助成を行っている。</p> <p>このため芦屋町子ども医療費助成事業基金を設置し、児童生徒の医療費に対する助成に充て、保護者の負担軽減を図ることにより、子育て世帯の子育て支援に寄与することを目的とする。</p>							
補助事業の内容	小・中学生に係る医療費（通院・入院）の一部助成							
補助事業の始期及び終期	平成23年度～令和7年度							
事業費及び交付金額		平成 27 年度まで	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元 年度	計	
	事業費	円 73,878,889	円 23,165,009	円 18,793,010	円 17,158,104	円 17,928,045	円 150,923,057	
	基金 造成 額	交付金額	263,086,000	0	0	0	0	263,086,000
		市町村費等	0	0	0	0	0	0
		運用益	812,515	681,072	392,804	333,842	143,698	2,363,931
		計	263,898,515	681,072	392,804	333,842	143,698	265,449,931
	基金処分額	70,000,000	20,000,000	16,000,000	16,000,000	16,000,000	138,000,000	
基金残額	193,898,515	174,579,587	158,972,391	143,306,233	127,449,931			
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>令和元年度において、13,420件の医療費助成を実施し、保護者へのアンケートで「子育て世帯の負担軽減に役立っており、本事業の継続を望んでいる。」との回答が得られ、子育て支援に寄与することができた。</p> <p>また、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金（防衛省）により実施されている旨を町広報誌及びHPに掲載をすることにより、保護者及び町民へ周知を図った。</p>							
事業の改善措置及び今後の対応	無							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							

事業評価書

補助事業名	芦屋飛行場関連特定事業（交通に関する事業：芦屋町バス運行事業基金）							
補助事業者名	芦屋町長							
実施場所	芦屋町							
補助事業の成果の目標	<p>芦屋町において、鉄道路線はなく路線バスが主要な公共交通であり、高齢者や通勤通学者の生活に欠かせない移動手段となっているが、利用者の減少及び行政の財政負担が課題となっている。</p> <p>このため、事業主体であるバス運行事業の利用促進策を講じながら、地方公共交通の充実及び確保、維持を図る。</p>							
補助事業の内容	芦屋タウンバス及び巡回バスにおける運行費用に充当。							
補助事業の始期及び終期	平成27年度から令和7年度まで							
事業費及び交付金額		27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	計	
	事業費	円 0	円 24,669,657	円 26,860,158	円 31,346,871	円 34,777,187	円 117,653,873	
	基金 造成 成額	交付金額	20,000,000	26,619,000	26,752,000	28,764,000	36,131,000	138,266,000
		市町村費等	0	0	0	0	0	0
		運用益	0	45,001	59,994	56,179	25,229	186,403
		計	20,000,000	26,664,001	26,811,994	28,820,179	36,156,229	138,452,403
	基金処分額	0	20,000,000	26,723,995	30,412,000	20,000,000	97,135,995	
	基金残額	20,000,000	26,664,001	26,752,000	25,160,179	41,316,408		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>芦屋タウンバスについて、平日便数が67便、土休日便数が49便、年間利用者数約110,000人。町内巡回バス（無料）については、14便、年間利用者数約36,600人となっている。本基金により安定的な事業運営ができ、地域公共交通手段の充実及び確保ができたことを確認した。また、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金（防衛省）により実施されている旨をバス車内へ掲示し、地域住民へ周知を行った。</p>							
事業の改善措置及び今後の対応	無							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							